

せせらぎ SeSeragi

漢方のよさ No.138号 ～ 無月経～

発行日：2016年9月5日(月)
発行者：浮田 徹也



発行所：医療法人 浮田クリニック
せせらぎ会
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1
☎077-574-3751 ☎077-574-3792
HP: <http://www.ukita.gr.jp>
✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

時代の反感をかきながら次第に人々を虜にし、最も人気のある画家のひとりになった**グスタフ・クリムト**は、ウィーン郊外のバウムガルテンで、彫金師である父エルンスト・クリムトと母アンネ・フィンスターの間に7人兄弟の2番目として生まれた。1886年(24歳)のブルク劇場の装飾(ブルク劇場の天井画・壁画)は、フランツ・ヨーゼフ皇帝の目に留まり高い評価をされた。その後も、師・ラウフェルガーから学んだ伝統的画法を受け継ぎ、ウィーン美術界における名声を確立していった。

クリムトは**エミーリエ**と1891年(29歳)頃知り合った。先進モードのブティックを営んでいたエミーリエはクリムトの弟の妻の姉で、伝統やしきたりからの自由を目指し、クリムトのデザインした服を着ることが多く、夏はアッター湖畔でのんびりと過ごし、クリムトと安らぎに満ちた日々を送ったそうだ。二人とも伝統的な芸術から脱却し新しい自由な芸術を求めた。

1894年(32歳)、ウィーン大学大講堂の天井に「哲学」「医学」「法学」の3部構成の絵を描くよう依頼された時、伝統から逸脱した性的描写の天井画を作成したため、教授たちから総反対された。そこで、旧態然とした国家や画壇にうんざりとしたクリムトは、1897年(35歳)、伝統的美術から分離し新たな芸術活動を始めた芸術家集団の**ウィーン分離派**を設立した。

1902年(40歳)、「ベートーヴェン・フリーズ」(分離派会館に展示されている)、1907年(45歳)には代表作「接吻」を発表し、裕福なユダヤ人を顧客にしていった。この作品「接吻」は発表と同時に政府に買い取られた。崖というシチュエーション、まばゆい黄金の光に包まれた恍惚の表情、手の表情、肩のすくませ方、身をまかせる女性の顔。線や色のひとつひとつにクリムトの「表現」が宿っている。

1918年(56歳)脳梗塞で半身不随に、その3週間後、スペイン風邪をこじらせ、肺炎でこの世を去った。看取ったのはエミーリエで、クリムトの最期の言葉「エミーリエを呼んでくれ」だった。



④ Secession(セセッション)

ウィーンの芸術家グループ「分離派」の展示館で、月桂樹の葉をモチーフにした黄金のドーム「黄金のキャベツ」と呼ばれる。19世紀末は保守派が主流だったが、クリムトらは革新的な作品を描き独自の展示活動をここで始めた。金色のキャベツの下に「DER ZEIT IHRE KUNST DER KUNST IHRE FREIHEIT」(時代にはその芸術を、芸術にはその自由を)と書かれている。



④ ベルベデーレ宮殿(Schloß Belvedere)

1683年のトルコ軍第2回ウィーン包囲からウィーンを救った英雄プリンツ・オイゲン公(1663~1736)の夏の離宮。バロック建築で、上宮からは緩やかな斜面の庭園と下宮とウィーン市内が眺望できる。宮殿上宮には、グスタフ・クリムトの代表作「接吻」、シーレ、ココシユカなどの作品が展示されている。



④ オットー・ヴァーグナー・パビリオン・カールスプラッツ
(Otto Wagner Pavillon Karlsplatz)



④ 美術史博物館(Kunsthistorisches Museum)

古典絵画の宝庫。正面階段の壁面上部に描かれたクリムト作「エジプト」「古代ギリシャ」「16世紀のフィレンツェ」は見ごたえがある。その他、ブリュゲルの「雪中狩人」「バベルの塔」「農民の婚礼」「子供の遊び」、フェルメールの「絵画芸術」、ラファエロの「草原の聖母」などに心ひかれる。



④ クリムト「接吻」

無月経のお話。原発性無月経(出生後より18歳になっても生理がない)では、子宮、卵巣、膣の発育不全、視床下部や脳下垂体の機能不全が疑われ、遺伝疾患(染色体異常)を認めることも多く、低身長、多毛、翼状頸などの異常が見られることもあります。たとえば、染色体異常で、低身長、未成熟な外性器を認めるTurner症候群、子宮の形成不全と膣の欠損があり、卵巣はあっても子宮や膣がないため、無月経になるRokitansky-Kuster-Hauser症候群があります。

続発性無月経(生理が3ヶ月以上停止したもの。一度あった生理がなくなったもの)は、精神的・身体的ストレス、ダイエット、急激な体重増加などが原因で、乳汁分泌、多毛、嘔声などの男性化徴候を伴うこともあります。たとえば、過度なダイエットや拒食症などのため、3~6カ月で体重が15~20%以上減少して無月経になる体重減少性無月経(思春期の続発性無月経の原因の44%)、下垂体から分泌されるホルモン、プロラクチンが異常に多く分泌され無月経の原因となる高プロラクチン血症は、下垂体腫瘍(プロラクチンを多く分泌する性質を持った腫瘍)、薬剤性(向精神薬、制吐薬など)、甲状腺機能低下症などで起こります。分娩時大量出血し、下垂体の血管に血の塊ができて下垂体の機能が低下し、無月経になるSheehan症候群、スポーツ選手で過度な運動がホルモンの状態に影響して無月経になる運動性無月経、卵巣性、40歳までに、卵巣機能が閉経後と同じ状態になり無月経となる早発卵巣機能不全、卵巣で男性ホルモンが過剰に作られ、小さな未熟卵胞が多数ある状態で、排卵障害のため不妊症の原因となる多嚢胞性卵巣症候群(生殖年齢女性の20~30人に1人)があります。長い間、月経がないと、骨密度の低下や高脂血症が起こりやすくなります。血液検査(ホルモン、脂質など)、骨量測定、超音波検査などが必要です。

では、**実例**に移ります。

続発性無月経、37歳、生理が3ヶ月なくなったと来院。ME検査で異常ない。子宮筋腫(2cm)の所見あり。便通3日に1回。顔色すぐれずやや浮腫む。手足は冷え浮腫む。めまいや頭痛はない。脈沈遅細、舌淡紅、薄白苔。そこで、当帰芍薬散+サリナ+大黄とホルモン剤を処方。2週間後、排便1日1回、むくみ減少、手足冷え減少。生理始る。自然月経を期待して、漢方薬とプロラクチン注射を開始(3日に1回)。2ヶ月後自然月経開始。その後、毎月生理あり、体調も良い。現在も漢方薬とプロラクチン注射を継続中。

めまい、33歳、生理前腹痛&憂うつ、生理1日2日生理痛、足先の冷え、便秘を訴えて来院(生理周期32日)。156cm、44kg、111/67。顔色暗く、憂うつな表情。脈沈細遅。舌、淡紅色、湿潤、薄白苔。お腹は、柔らかく、胸脇肋下部に抵抗&圧痛、腹直筋緊張。子宮、卵巣に異常な所見はない。そこで、香蘇散+サリナ(朝)、苓桂朮甘湯+サリナ+大黄(昼夕)を処方。1ヶ月服用したが、めまい、生理周辺の症状、冷えが改善しないので、真武湯+苓桂朮甘湯+サリナ+大黄+附子(分3)を処方。また、1年に何度か、突発性難聴を発症すると訴えた。1ヶ月後、めまい、生理周辺の症状、冷えが改善してきた。6ヶ月後、ほぼ症状がなくなり表情も明るくなった。現在も服薬中。

便秘(5~7日に1回排便)、生後3ヶ月、体重増加も哺乳も順調。小児科で特別な病気は指摘されず、下剤を処方された。顔色良好、お腹、柔らかく、胸脇苦満(-)、臍上悸(-)、心下痞硬(-)、胃内停水(-)、下腹部軽度膨満。脈浮滑。舌淡紅色、無苔。そこで、桂皮芍薬、大棗、生姜、甘草、膠飴を処方。1週間後から、2~3日に排便。2週間後から毎日排便。離乳食を始めるまで漢方薬を継続して廃薬。

朝夕方浮腫を自覚、36歳女性、160cm、61kg、冷え症、甲状腺機能低下症(36歳からチラーゼノン服用中)、生理周期34日、PMS(月経前症候群で頭痛、下腹部痛、だるさ)、顔はやや赤く、お腹は弾力性があり、右胸脇に抵抗&圧痛、臍上に動悸、臍左右下に抵抗&圧痛、脈は浮弦遅。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯+当帰芍薬散+五苓散+サリナ+附子を処方。1ヶ月後、頭痛、下腹部痛、だるさの月経前症候群症状がなくなった。2ヶ月後、朝の浮腫はなくなった。4ヶ月後、夕方の浮腫も消えた。1年後の現在も継続中。

[院長]

め ま い

生命にかかわるめまい(脳梗塞、出血、腫瘍、外傷など)でなければ、漢方薬中心の治療が有効です。耳鳴り、難聴、嘔吐(悪心)、眼振、てんかん、運動障害や感覚障害の確認も大切です。発作の時は、注射や点滴や煎じ薬でめまいを早く治療すべきですが、なによりも生活、環境、食事、心の調和をとり、めまいを起こしやすい体質を漢方薬で改善することが必要です。



赤 ち ゃ ん の 便 秘

機嫌よくお乳の飲みも変わらず、便も硬くなければ心配ありません。オリーブ油、当院の漢方軟膏などで肛門の刺激しても、排便がなければ、浣腸やお薬(下剤、漢方薬)を処方します。もし、嘔吐、腹部膨満、筋緊張低下、浮腫、顔貌の変化があれば要注意です。



む く み

うつ血性心不全、腎機能障害、肝硬変、甲状腺機能低下症、血栓性静脈炎、妊娠高血圧症候群、月経前緊張症(イライラ、不眠、浮腫)、原因不明の浮腫(突発性浮腫)などがあります。原因となる病気の診察を受けることが第一です。治療には、漢方薬も大いに期待できます。



当院の漢方治療

剤型

- ・エキス漢方薬：**錠剤タイプの漢方薬**と**顆粒タイプの漢方薬**があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。当院の**顆粒タイプの漢方薬**は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)で保管**して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…。

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…。

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重度の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰腫分泌物、心電図、骨量測定…)

漢方入浴剤

アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は早急に受付に連絡して下さい。

漢方予約外来

漢方専門医(兼漢方専門医指導医)に本格的な漢方治療を希望される方のために「漢方予約外来」を9月から始めます。ご希望の方は当院受付又はお電話で診療時間内に予約してください。診療日時：毎週金曜日午後2時～3時20分、一人20分。

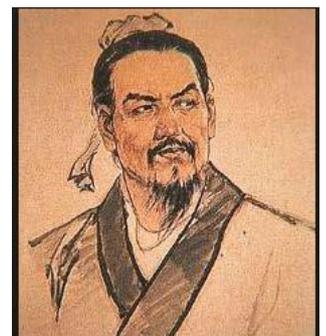
ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ (お知らせの欄、診療日程カレンダー)
- ・産科と婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導) (癌検診、不妊症、更年期障害)
- ・漢方治療のページ (漢方治療)
- ・各検診と予防接種のページ (健診、プライダルチェック、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通 (車、JR)

せつき

薛己((1486～1558))

蘇州の人。父の薛鎧(せつがい)は「保嬰撮要」八巻を著わした小児科の名医。薛己の著作は、「内科適要」「保嬰撮要」「女科撮要」「外科發揮」「外科心法」「外科經驗方」「外科枢要」「口齒類要」「癰瘍機要」などで、王綸「明医雜著」、陳自明「外科精要」「婦人良方大全」、錢乙「小兒藥証直訣」、滑寿の難經本義「十四經發揮」、朱震亨「平治疔萃(へいちわいすい)」などを手直し「薛氏医案二十四種」を著した。薛己は「温補学派」で、脾腎に重点を置き、四君子湯・六君子湯などを用いた「補中益気」と六味丸・八味丸などを用いた「補腎」を瘍科(外科)に応用したとされる。



外来用診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療(午前9時～12時30分)							
産科	恵医師	恵医師	副院長	院長	副院長	副院長	—
婦人科	副院長	副院長	恵医師	恵医師	恵医師	女性医師	—
漢方	院長	院長	院長	院長	院長	院長	—
産後母子健診	—	○	—	○	—	○	—
助産師外来	○	—	○	—	○	—	—
母乳外来	○	○	○	○	○	○	○
予防接種・胎児スクリーニング・乳児健診(午後2時～4時)							
漢方予約外来	—	—	—	—	院長	—	—
予防接種	院長	—	院長	—	—	—	—
胎児スクリーニング	副院長	—	副院長	—	副院長	—	—
乳児健診	院長	城山医師	院長	—	—	—	—
母乳外来	○	○	○	○	○	○	○
午後診療(午後4時30分～7時)							
産科	副院長	—	副院長	—	恵医師	—	—
婦人科	院長	—	恵医師	—	恵医師	—	—
漢方	院長	—	院長	—	院長	—	—

院長：浮田徹也、副院長：浮田真吾、恵医師：浮田恵、女性医師：交代

■女性医師外来：

毎日対応します。土曜日は京大病院からの女性医師が担当します。

■漢方専門医の漢方外来(月～土)：

内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科領域に対して、日本東洋医学会漢方専門医が診察及び東洋医学の治療をします。来院順に診察します。予約外来ではありません。毎週金曜日「漢方予約外来(午後2時～3時20分)」を院長が担当します。当院は、日本東洋医学会漢方専門医研修施設に指定されています。

■産後母子健診：

火曜日・木曜日・土曜日：9:00～予約制 お一人様60分 当院退院後5日目の赤ちゃんともマムの状態の診察と保健指導を行います。

■乳児健診：

毎週火曜日には、しろやま赤ちゃんこどもクリニック 城山医師による1ヶ月健診を行います。

毎週水曜日には、院長による乳児健診を行います。

■胎児スクリーニング外来：

妊娠20-24週の方。月曜日水曜日金曜日午後2時～4時、1人20分前後。予約制。

当院で分娩の方3000円 他院分娩の方5000円

■予防接種ワクチン接種外来：

インフルエンザ、BCG、四種混合(DPT-IPV)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、子宮頸癌予防ワクチン、その他

■母乳外来(電話予約制)：

退院した後のママと赤ちゃんの母乳相談や育児相談をプロの助産師がサポートします。

授乳や赤ちゃんの体重の増え方、ミルクの飲み具合等について何でもご相談下さい。

当院で出産された方 3000円 他院で出産された方 4500円

■不妊外来(月～土 午前診/午後診)：

タイミング指導やホルモン治療や漢方薬治療や精子検査を実施。人工授精も行っております。兵庫医科大学医師の不妊外来は1月1回あります。

■更年期外来(月～土 午前診/午後診)：

漢方薬やホルモン剤やプラセンタ等による総合的な診察を行います。

■日本抗加齢学会専門医のアンチエイジング外来(月～土)：

更年期障害、産後乳汁分泌不全の場合は、健康保険での保険診療。その他のアンチエイジングの場合は、自費診療となります。

プラセンタ注射、プラセンタ内服薬やドリンク剤等取り揃えております。

その他、各種プラセンタ化粧品もありますのでご相談下さい。日本抗加齢学会専門医が対応します。

■コルポスコピー検査：

子宮頸癌細胞診で問題のあった方には当院で実施します。

■助産師外来(月水金午前中)：

当院の妊婦健診のうち、妊娠35週～36週頃の妊婦健診を助産師外来とさせていただきます。

皆さんお一人、お一人と触れ合いながら、おひとり45分程度の時間(予約制)をかけ、「自分らしい」妊娠・出産・育児を創りあげていけるよう、バースプランに沿った支援を心がけます。母乳育児にそなえておっぱいのお手入れの方法もお話します。妊婦健診補助券を利用します。(ただし、天津市以外の方は差額をお支払い頂く場合があります。)

■前・中期-ママクラス：無料(当院で分娩の方対象) 第1土曜日(10:00～12:00) 第3土曜日(13:30～15:30)

立会い分娩の方は特にご参加ください。ママクラスでは院内冊子(HELLO BABY)にそってお話します。

■後期-ママクラス：無料(当院で分娩の方対象) 第1木曜日(10:00～12:00) 第2,3,4土曜日(13:30～15:30)

立会い分娩の方は特にご参加ください。ママクラスでは院内冊子(HELLO BABY)にそってお話します。

■パパママクラス：無料(当院で分娩の方対象) 第2,4土曜日(13:30～15:30)

パパに妊婦生活を疑似体験してもらい、出産するママについて学んでもらいます。

■着帯教室：無料(当院で分娩の方対象) 第4火曜日(14:00～15:00)

腹帯の巻き方にはコツがあります。きっちりとご指導します。

■マタニティーヨガ：当院分娩の方は1,000円、他院分娩の方は1,500円 前期第1火曜日(14:30～16:00) 後期第3火曜日(14:30～16:00)

マタニティーヨガインストラクターによる教室です。

■マタニティーフラダンス：参加費500円 初回参加の方第2金曜日(15:00～16:00) 2回目以降の方第4金曜日(15:00～16:00)

マタニティーフラを通じてお腹の赤ちゃんと一緒に踊りましょう。

■うきっこクラブ：当院で生まれた赤ちゃん対象 ジェアーク第1木曜日(14:00～16:00) シェアーク第3,4木曜日(10:00～12:00)

育児・おっぱい・離乳食についてみんなで話合いましょ。1ヶ月～12ヶ月の赤ちゃん。

■ベビーマッサージ：当院で生まれた赤ちゃん対象 第2水曜日(10:00/13:00～14:30)

わらべうたベビーマッサージを通じて、ママと赤ちゃんのスキンシップを育みましょう。